

全国から大勢の方に来庁いただいています。平成三十年度については、町内に新たにカラーメンホールを設置するとともに、それを探索するイベントを開催してまいります。町内を周遊していただくことで、豊山町の魅力を知っていただく機会につなげてまいりたいと考えています。

目標 2 にぎわいを生み出す 個性豊かなまち

次に「目標2 にぎわいを生み出す 個性豊かなまち」です。

本町には、県営名古屋空港をはじめ、航空機をテーマとする二つのミュージアム、JAXA飛行研究拠点やMRJ最終組立工場等、多くの航空機関連施設があります。これらの施設と本町の神明公園、航空館bionを生かした町全体の活性化を図ってまいります。具体的には、「ヒコキのまち」として知名度を町内外に浸透させ、産業観光を活性化させるため、紙飛行機を飛ばすギネス記録に挑戦するイベントを開催します。また、新たな土産品の開発や、ヒコキのまちとよやまに関連した地空人くんグッズも開発してまいります。



加えて、ご結婚される方に対して、本町により親しみをもっていたただけるよう地空人くんのイラストの入った婚姻届と婚姻届特別受理証明書も発行してまいります。

消費生活相談につきましては、これまでの月一回の開催から月二回に拡大してまいります。また、町民の皆様がトラブルに巻き込まれないための消費生活講座についても新たに開催してまいります。

町民農園につきましては、新たに神明地区に駐車場を備えた一区画十五平方メートル、計二十四区画の農園を開設いたします。近隣の方ももちろん、広く町民の皆様にご利用いただきたいと思っております。

目標 3 安全・安心で住みやすさを 実感できるまち

「目標3 安全・安心で住みやすさを 実感できるまち」です。

とよやまタウンバスにつきましては、平成十四年に運行を開始して以来、町民の皆様の日常生活の足として、ご利用いただいております。

北ルートにつきましては、平成十八年にルート見直しを行って以降、年間の乗客数が一万人を超えていたものの、近年は九千人台での推移となっております。そのため、町民の皆様がよりご利用しやすくなるよう、エアポートウォーク名古屋に停留所を新設するとともに、一部ルートを見直してまいります。

防災につきましては、情報伝達時間の短縮と伝達情報の充実を図るため、人工衛星と町の防災行政無線を利用し、緊急情報を町民の皆様へ伝達するシステム、全国瞬時警報システム（Jアラート）の新型受信機を導入してまいります。

また、災害時における避難所の機能についても充実してまいります。中学校四校に四年間かけて、「避難ルーム」やエアーマットなどの必要な備品

を順次整備してまいります。

防災行政無線につきましては、本年度策定しております基本構想を基に、デジタル化に向けた実施設計を行ってまいります。

防犯につきましては、犯罪発生抑制を目的に、平成二十六年から順次、防犯カメラの設置を進めてきております。平成二十九年までに、役場をはじめとする公共施設など十二か所に、計二十四台の防犯カメラを設置してまいりました。平成三十年度は、神明社と豊山グラウンド南駐車場に二台ずつ設置してまいります。

交通安全につきましては、本町の平成二十九年の人身事故の発生件数は百件と、平成二十八年の百四十七件と比較して四十七件、減少させることができました。これは、地域の方による防犯パトロールなどの活動や西枇杷島警察署をはじめとする関係機関との連携による成果であると考えております。平成三十年度は、これらの取組を継続するとともに、通学路のカラー舗装化を行い、施設面からも安全対策の充実を図ってまいります。

また、高齢者人口の増加に伴い、高齢者の運転による交通事故が増加傾向にあることから、その対策として、高齢者運転免許証自主返納支援事業を開始します。対象者は六十五歳以上の方